

自動車整備業界の人材確保に向けて

山梨県自動車整備商工組合



～自動車整備3団体による新年講演会を開催～

山梨県自動車整備商工組合（小林達也理事長 組合員787社）は1月19日、甲府市の常磐ホテルにおいて山梨県自動車整備振興会、山梨県自動車整備連盟の3団体合同による新年講演会を開催した。

講師に自民党自動車整備議員連盟常任幹事の赤池誠章参議院議員を招き、「自動車整備業界の今後の展望について」と題した講演を行った。自動車整備士の専門学校長を過去に務めた経験のある赤池氏は、「当時と比べ専門学校の入学者数は半減し生徒の確保に苦慮する中で、自動車整備業界として人材確保が喫緊の課題となっている。少子化や若者の趣味の多様化に加え職業選択の幅も広がっており、自動車整備士に興味を持つ若者が減少している。業界としても運輸支局などと連携し高校訪問やパンフレッ



講師の赤池参議院議員

トの配布等による周知活動を行っているが、それだけではまだ不十分。国としても整備士の人材育成と確保に向けて対策強化に取り組んでいるので、政官業が力を合わせて人材確保に取り組んで行く必要がある。」と述べた。また、入管難民法が改正され、自動車整備業も外国人労働者の受入が可能になることから、「今後は日本人整備士だけでなく、外国人材の活用も選択肢の一つとなってくる。」と話した。

講演会終了後の新年懇親会で、小林会長は「自動車整備業界では人手不足への対応だけではなく、ハイブリッド車や電気自動車などの次世代自動車の普及や自動運転の実用化など自動車技術が一段と進展しており、整備士には従来の技術に加えて、常に最新技術に対する高度な専門的知識が求められるようになってきている。適切な自動車整備の実現に向けて、3団体が一丸となり高度化する自動車に対応できる技術や知識の習得に向けて研修の充実強化に取り組んでいく。」と挨拶した。



多くの参加者が聴講した